

## 国際人口移動シナリオと将来人口の構造：日欧比較

ジャンパオロ・ランツィエリ

本論文では、国際人口移動に関する様々な仮定に基づく将来人口の構成に関する結果を定量的に示し、それらを欧州各国の見通しと比較した。蓋然性の高い仮定の範囲で言えば、現在の欧州地域と同レベルの国外からの移入が起こったときのみ、日本の極端な人口減少と高齢化を回避できるが、人口構成は多様化する。今後50年の間において、外国生まれ人口は、若年人口において極めて重要な位置を占め、将来の移入水準にもよるが、人口に占める比率が10%～30%に達する可能性がある。